

『子ども月間に際して～子どものように』 吉田真司

イエス様は「子どもたち」を指してこう言われました。「神の国はこのような者たちのものである」(マルコ10:14)と。

ある教会学校研修会で体験したことを思い出します。講師の先生が参加者に言いました。「皆さん、床に寝そべって下さい」と。「何をやるのだろう?」と興味深くして皆床に身を伏せました。すると講師の先生が「はい、それが赤ちゃんの見える世界です」と。わたしは「ハッ」としました。そしてその世界観を忘れていた自分に気づかされました。赤ん坊から幼児になり、児童になり、少年少女になり、青年になり、壮年になる、そういうプロセスを歩む中で、人は自分の力で生きて行く術を身に付けていきます。しかしそれと共にこの世の知識、常識、習慣に染まってしまい、大切な何かを置き去りにしていくような、そういう大人になって行く、自分の支配者は自分だとして、自分の中にある王座を明け渡さないプライドで自分を立てて行く、・・・そしてそこには「神」という存在が入る込む余地が全くない・・・そういう人は多いと思います。

そしてそれは私自身の中にも見ます。自分の全身に精一杯力を込めて、わが力で生きて行こうとする・・・でも、そんな時思い起こしたいのは、母親の腕の中で安心してすやすやと眠っている赤ちゃんです。あるいは背中に負ぶられて、その背中の温もりに安心して寝入っている幼子です。その子どもたちは自分の体重を自分で支えようとはしません。その体重すべてを抱っこする母親に、おんぶする父親に預け切って、委ね切っています。ですから、眠り切った子どもほど重たいですよ。そこには安心があります。赤ちゃんは「この母親、不注意に自分を落とすのではないか?」とか「この父親、自分が眠っている隙にどっか行ってしまうのではないか?」とか心配しません。その懐は、その背中は安心そのもののなのです。

「子どものように」——私たちは今朝、そのような子ども心、それは父なる神様の懐に抱かれて安心する、そのような平安をそれぞれの心にいただきたいと思うのです。

教会の定例集会

主日礼拝	日曜日	午前 9:00～10:00 (相模原礼拝)
		午前 10:40～12:00 (会堂礼拝)
教会学校	日曜日	午前 9:30～10:20
(嬰兒、幼児、小学生、中高生、青年、成人、英語、聖書入門の各クラス)		
祈り会	水曜日	午後 7:30～9:00
金曜集会	金曜日	午前 10:30～12:00
家庭集会 (相模原)	第二火曜日	午前 10:00～12:00 (竹村家)
(すずかけ台)	第三木曜日	午後 1:30～3:00 (長谷川家)

日本バプテスト相模中央キリスト教会

〒242-0007 大和市中央林間4-24-6 TEL&FAX 046 (274) 3708

牧師：吉田真司 音楽・子どもユース担当主事：江原美歌子 協力牧師：斎藤剛毅

<http://www.sccc.sakura.ne.jp>